



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6835 URL <https://www.at-global.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 大嶋 章禎
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美 (TEL) 03-5437-6007
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	17,443	43.2	1,504	—	1,196	—	930	—
2020年12月期第2四半期	12,181	△10.9	△1,265	—	△1,388	—	△1,403	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,269百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △1,501百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	8.48	—
2020年12月期第2四半期	△12.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	25,842	5,588	21.4
2020年12月期	25,770	4,337	16.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,523百万円 2020年12月期 4,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年12月期 2 Q	109,731,545株	2020年12月期	109,671,545株
2021年12月期 2 Q	470株	2020年12月期	371株
2021年12月期 2 Q	109,711,125株	2020年12月期 2 Q	109,671,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点において未定としています。

(詳細は、[添付資料] P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)は、世界各国で新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたワクチン接種が進み、景気回復に向けた明るい兆しが見え始めました。一方で、変異株による新たな感染拡大に苦慮する国・地域では、経済活動の制約により先行き不透明な状況が続いております。我が国においても、主要都市を中心に「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発出され、社会経済活動への負の影響は依然として続いています。

当社グループが属する情報通信機器業界におきましては、半導体の世界的な供給不足の影響が深刻化しつつあります。そのような状況において、当社グループは自社生産の強みを活かした柔軟性のある製品供給体制で競争優位性の確保に努めてまいりました。また、付加価値を高めるソフトウェアのクラウド化を進めるほか、ITコンサルティングの強化や各種付加価値サービスの拡販に努め、事業環境の変化に柔軟に対応できる体制を整備してまいりました。さらに、営業・サービス体制を強化するため日本で引き続き人員を増強し、海外では新規パートナー開拓などを進めました。加えて、Webセミナーを拡充したほか、イベント出展を通して新規顧客獲得に向けた販促活動を強化してまいりました。そのような中、サイバーセキュリティ分野において、これまで多数の名高い賞を受賞してきたサイバーセキュリティ・ソリューション「AMF-SEC」が新たに米国の権威ある賞を受賞し、改めて当社グループの技術力が世界的に高い評価を受けました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、日本での売上が好調となり、さらに活動制限が緩和されて徐々に事業活動が再開しはじめた海外での売上が増加した結果、連結売上高は前年同期比43.2%増の174億43百万円となりました。

損益面につきましては、人件費や広告宣伝費などが膨らんだことから販売費及び一般管理費は前年同期に比べて6億97百万円増加したものの、増収に伴い売上総利益が34億68百万円増加した結果、営業利益は15億4百万円(前年同期は12億65百万円の損失)となりました。また、営業外費用として支払手数料及び為替差損などの計上により、経常利益は11億96百万円(前年同期は13億88百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億30百万円(前年同期は14億3百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの所在地域別のセグメント売上高の概要は、次のとおりです。

[日本]

日本では、引き続き営業・サービス体制を強化し、オンラインセミナーの拡充に加えて、段階的に制限が解除された各種オフラインイベントに出展しました。第1四半期(1月～3月)においては、「GIGAスクール構想」の予算執行により教育機関の売上が大幅に増加しましたが、第2四半期(4月～6月)においては、コロナ禍でこれまで抑制があった医療機関の売上が好調となりました。この結果、売上高は前年同期比50.2%増の123億67百万円となりました。

[米州]

米州では、米国の連邦政府からの受注などに一部遅延が見られるものの、公共交通機関などへの大型案件が堅調となりました。また、在日米軍基地の居住者向けインターネットサービスの売上が概ね好調となりました。この結果、米州での売上高は前年同期比15.3%増の21億21百万円となりました。

[EMEA(ヨーロッパ、中東及びアフリカ)]

EMEAでは、感染拡大防止のための規制が緩和されつつあることから、復調の兆しが見られました。また、政府機関や教育機関など公共分野で売上が好調となり、監視カメラソリューションは引き続き好調となりました。この結果、EMEAの売上高は前年同期比45.1%増の20億14百万円となりました。

[アジア・オセアニア]

アジア・オセアニアでは、Webセミナーを中心に営業・販促活動を推進するほか、医療機器メーカーなど異業種パートナーとの連携を強化し市場開拓を進めてまいりました。そのような中、比較的新型コロナウイルスの新規感染が抑えられている国や地域で、公共や中堅企業の売上が堅調に推移しました。この結果、売上高は前年同期比30.6%増の9億40百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は258億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が14億22百万円減少した一方で、原材料及び貯蔵品が8億14百万円、現金及び預金が4億85百万円、流動資産のその他が3億91百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は202億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億79百万円減少となりました。これは主に、前受収益が8億76百万円、支払手形及び買掛金が7億96百万円増加した一方で、短期借入金が24億27百万円、流動負債のその他が3億10百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、55億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億51百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が9億30百万円、為替換算調整勘定が3億32百万円増加したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.9ポイント上昇となる21.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、45億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億85百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、32億21百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ38億81百万円の収入増となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、仕入債務、前受収益が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億4百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ37百万円の支出減となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、26億13百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ34億79百万円の支出増となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が減少した一方で、短期借入金の純増減額、セール・アンド・リースバックによる収入が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在21か国に連結子会社を保有し事業を展開しています。そのため、新型コロナウイルス感染拡大による経済的影響、為替変動、世界的な半導体の需給ひっ迫、米中間の通商摩擦などにより、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。特に海外子会社では中央・地方政府の大型公共事業を手掛けることが多く、政治・経済動向が当社の事業活動に与える影響は大きくなります。このような理由から、当期の業績予想につきましては、現時点（2021年8月13日）で合理的な算定が困難であるため未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

また、利益配分に関する基本方針として、当社は安定的かつ継続的な株主への利益還元を経営課題として考えるとともに、社会のニーズや技術の進歩・動向などを見据えた研究開発を成長のための必要不可欠な投資と位置づけた上で、経営基盤の強化と財務体質の健全性の保持に努めております。その上で業績に応じた株主への利益還元を実施することを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損の状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、配当を見送る予定です。当社は、早期の業績の回復と復配に向けて全力で取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,060,310	4,545,330
受取手形及び売掛金	6,002,054	4,579,065
商品及び製品	3,784,308	3,310,926
仕掛品	324,013	380,179
原材料及び貯蔵品	840,072	1,654,660
その他	1,609,787	2,001,359
貸倒引当金	△90,374	△99,475
流動資産合計	16,530,171	16,372,046
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,675,125	2,729,511
その他(純額)	3,016,319	3,018,565
有形固定資産合計	5,691,444	5,748,077
無形固定資産		
その他	251,131	235,302
無形固定資産合計	251,131	235,302
投資その他の資産		
その他	3,306,975	3,495,710
貸倒引当金	△9,196	△8,596
投資その他の資産合計	3,297,778	3,487,114
固定資産合計	9,240,354	9,470,493
資産合計	25,770,526	25,842,540
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,126,106	2,922,175
短期借入金	2,427,945	—
1年内返済予定の長期借入金	1,511,671	1,520,640
未払法人税等	235,946	347,481
賞与引当金	216,014	229,637
前受収益	4,966,194	5,842,361
その他	3,252,596	2,941,647
流動負債合計	14,736,474	13,803,943
固定負債		
長期借入金	2,817,395	2,676,597
退職給付に係る負債	622,278	626,455
リース債務	2,712,204	2,608,136
その他	544,768	538,900
固定負債合計	6,696,647	6,450,090
負債合計	21,433,122	20,254,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,014,121	10,019,161
資本剰余金	194,407	199,447
利益剰余金	△5,816,281	△4,885,508
自己株式	△31	△42
株主資本合計	4,392,216	5,333,057
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△136,265	196,707
退職給付に係る調整累計額	△11,475	△6,196
その他の包括利益累計額合計	△147,740	190,510
新株予約権	92,928	64,938
純資産合計	4,337,404	5,588,506
負債純資産合計	25,770,526	25,842,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	12,181,492	17,443,835
売上原価	4,890,081	6,684,265
売上総利益	7,291,410	10,759,569
販売費及び一般管理費	8,557,175	9,254,717
営業利益又は営業損失(△)	△1,265,765	1,504,852
営業外収益		
受取利息	296	196
受取保険金	27,294	3,850
助成金収入	5,130	5,805
保険返戻金	6,399	6,399
その他	6,798	1,976
営業外収益合計	45,918	18,228
営業外費用		
支払利息	119,384	126,422
為替差損	46,547	94,194
支払手数料	—	102,761
その他	2,770	3,091
営業外費用合計	168,702	326,469
経常利益又は経常損失(△)	△1,388,548	1,196,611
特別利益		
新株予約権戻入益	—	26,190
特別利益合計	—	26,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,548	1,222,801
法人税、住民税及び事業税	134,345	251,207
法人税等調整額	△119,027	40,820
法人税等合計	15,318	292,028
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,403,867	930,772
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,403,867	930,772

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,403,867	930,772
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△101,466	332,972
退職給付に係る調整額	4,204	5,278
その他の包括利益合計	△97,262	338,250
四半期包括利益	△1,501,129	1,269,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,501,129	1,269,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,388,548	1,222,801
減価償却費	369,186	359,907
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,127	2,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,037	7,840
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25,679	3,095
受取利息及び受取配当金	△296	△196
支払利息	119,384	126,422
為替差損益(△は益)	57,095	42,829
新株予約権戻入益	—	△26,190
受取保険金	△27,294	△3,850
助成金収入	△5,130	△5,805
保険返戻金	△6,399	△6,399
売上債権の増減額(△は増加)	1,981,222	1,525,604
たな卸資産の増減額(△は増加)	△434,037	△174,185
仕入債務の増減額(△は減少)	△578,159	274,634
前受収益の増減額(△は減少)	332,747	860,545
その他	△821,815	△721,253
小計	△388,814	3,488,489
利息及び配当金の受取額	296	196
利息の支払額	△121,628	△131,163
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△188,581	△151,683
保険金の受取額	27,294	3,850
助成金の受取額	5,130	5,805
保険返戻金の受取額	6,399	6,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	△659,904	3,221,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△194,038	△137,189
無形固定資産の取得による支出	△46,858	△31,019
その他	△939	△35,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,836	△204,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,636	△2,531,471
長期借入れによる収入	772,328	670,000
長期借入金の返済による支出	△1,841,511	△854,396
セール・アンド・リースバックによる収入	2,197,913	—
セール・アンド・割賦バックによる収入	—	431,806
リース債務の返済による支出	△265,850	△327,613
その他	△109	△2,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	865,407	△2,613,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54,884	81,136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,218	485,019
現金及び現金同等物の期首残高	2,995,294	4,060,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,904,076	4,545,330

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,233,817	1,839,473	1,388,605	719,595	12,181,492	—	12,181,492
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	270,891	15,619	32,017	3,060,697	3,379,226	△3,379,226	—
計	8,504,708	1,855,093	1,420,622	3,780,292	15,560,718	△3,379,226	12,181,492
セグメント利益又は損失(△)	△931,738	△126,974	△274,340	12,894	△1,320,158	54,393	△1,265,765

(注)1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去89,946千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△35,553千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	12,367,619	2,121,591	2,014,581	940,042	17,443,835	—	17,443,835
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	75,840	22,845	12,136	3,162,581	3,273,404	△3,273,404	—
計	12,443,460	2,144,437	2,026,718	4,102,623	20,717,239	△3,273,404	17,443,835
セグメント利益	961,060	285,722	62,025	84,103	1,392,911	111,940	1,504,852

(注)1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去92,065千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等19,875千円が含まれております。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。